

# 2002 年度 経済原論 : 期末試験

2003 年 1 月 22 日 (水)

## < 注意 >

・以下の 5 問のうち 4 問を選択して解答すること。

## < 問題 >

**[第 1 問]** ある財の市場において、右上がりの供給曲線と右下がりの需要曲線が描けるものとする。このとき以下の設問に答えなさい。

この財の消費に対して課税すると、死重損失 (死加重) が発生する。この死重損失について図示して説明しなさい。(5 点)

上述の死重損失が小さいのはどのような場合か。図示して説明しなさい。(10 点)

逆に、死重損失が大きいのはどのような場合か。図示して説明しなさい。(10 点)

**[第 2 問]** 親夫婦と子供夫婦が「都会に住むか、田舎に住むか」、「同居するか、別居するか」でもめている。同一地域に居住する場合には別居できないものとする、居住地と同居・別居の関係は第 1 表のようになる。

< 第 1 表 >		子供	
		田舎	都会
親	田舎	同居	別居
	都会	別居	同居

さらに、次の 3 つのことが成り立つとして、以下の設問に答えなさい。

親夫婦は「田舎」、「同居」を好み、子供夫婦は「都会」、「別居」を好む。

「都会 / 田舎」と「同居 / 別居」のいずれを重視しているかはわからない。

親夫婦と子供夫婦は、各々、4 つの結果 (「都会・同居」、「都会・別居」、「田舎・同居」、「田舎・別居」) に対して、優先順位 1 位に 10 点、2 位に 5 点、3 位に 3 点、4 位に 1 点を与える。

親夫婦と子供夫婦の優先順位が第 2 表のようになる場合、均衡となるのはどのような選択か。根拠も示すこと。(10 点)

「都会・同居」が選ばれるのは、優先順位がどのような場合か。根拠も示すこと。(15 点)

< 第 2 表 >

順位	点数	親	子供
1 位	10	田舎・同居	都会・別居
2 位	5	田舎・別居	都会・同居
3 位	3	都会・同居	田舎・別居
4 位	1	都会・別居	田舎・同居

**[第 3 問]** ある財市場の供給曲線と需要曲線が、それぞれ

$$P=10+3S$$

$$P=130-D$$

で表せるものとする。ただし、 $P$  は価格、 $S$  は供給、 $D$  は需要である。このとき、以下の設問に答えなさい。計算過程も示すこと。割り切れない場合は小数点第二位以下を四捨五入すること。

均衡における価格と取引量を計算しなさい。(各 3 点・計 6 点)

一律に 8 だけの消費税が課されたとする。新しい均衡における消費者価格と取引量、および生産者価格を計算しなさい。(各 3 点・計 9 点)

消費税のうち消費者の負担分と生産者の負担分を計算しなさい。(各 5 点・10 点)

**[第 4 問]** 公共財に関する以下の設問に答えなさい。

私的財と対比しながら、公共財の特徴を説明しなさい。(10 点)

公共財について市場の失敗が発生するメカニズムを簡潔に説明しなさい。(15 点)

**[第 5 問]** この問を選んだ場合、解答をもとに行ったゲームの結果により点数が決定される。よく考えた上で、自らの責任において選択すること。

### 【ゲームの内容】

- 1) 各参加者 (この問の選択者) の当初の持ち点は 10 点である。
- 2) 参加者は持ち点から共同基金に寄付する点数 (0 ~ 10 の整数) を決定する。
- 3) 共同基金に寄付された点数は 2 倍され、参加者に均等に分配される (小数点以下は四捨五入)。
- 4) 持ち点から寄付点を差し引いた残りの点数と共同基金から分配された点数の合計が自分の獲得点数となる。

**【設問】** 共同基金に寄付する点数を 0 ~ 10 の整数で記しなさい。